

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 事業所番号   | 3873400208         |
| 法人名     | 有限会社 介護支援サービス しるもと |
| 事業所名    | グループホーム・サマリヤの家     |
| 所在地     | 上浮穴郡久万高原町上野尻甲623-2 |
| 自己評価作成日 | 平成24年5月31日         |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

|  |
|--|
| <p>自然豊かな山々に囲まれた久万高原町の野尻地区の人情豊かな地にあり、「自由権の尊重」を基本的に置き、入居者の意思、行動に危険性がない限り干渉せず、自立と本人の望む生活を支援する事に力を入れて取り組んでいます高齢化とともに重度の利用者さんが多くなっている為、外出支援に力を入れています。認知症になっても住み慣れた地域の中で支えあう家族職員、地域の人達と共に楽しく、自分らしく暮らしています。</p> |
|--|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS            |
| 所在地   | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成24年6月19日                |

|   |
|---|
| <p>●利用者は、地元の方達であり、事業所の近くにも知り合いが多い。訪ねて来てくれ一緒にお茶を飲んだり、散歩や出かけた先でおしゃべり等されている。夏祭りの踊りの連には、職員と一緒に利用者も仮装して参加され、毎年のように賞をいただいている。小・中学校の運動会に招待され、鈴割りを楽しまれたり、小学校の児童と先生が育てたハイビスカスの鉢植えをいただいたり、高校のバザーに出かけ、お好きなものを食べて帰るようなこともある。</p> <p>●月に1度、ご家族が利用料を持参される際に、日々の介護記録をみていただきながら、職員の暮らしの様子等を説明されている。事業所のバーベキュー大会等には、利用者と一緒に過ごしなが、ご家族同士でお話したり、日頃の暮らしの写真等もお見せして、近況報告をされている。ご家族から、意見や要望を話していただくことが少ないこともあって、評価機関が年2回送付する家族アンケートのコメント集の中から、当てはまりそうな内容を職員会議で検討して、ご家族の心情の理解等にも努めておられる。</p> |
|---|

### V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印  | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当する項目に○印   |
|-----|---|--|-----|---|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目：23, 24, 25)      | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. <b>利用者の2/3くらい</b><br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目：9, 10, 19)  |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目：18, 38)             | ○ 1. <b>毎日ある</b><br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目：2, 20)                      |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目：38)                    | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. <b>利用者の2/3くらい</b><br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目：4) |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36, 37)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. <b>利用者の2/3くらい</b><br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目：11, 12)                                       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけられている<br>(参考項目：49)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. <b>利用者の2/3くらい</b><br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目：30, 31)         | ○ 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b><br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62  | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている<br>(参考項目：28) | ○ 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b><br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんどいない    |     |   |

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム・サマリヤの家

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

岡田 みどり

評価完了日

平成24年5月31日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|--|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |  |                               |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | (自己評価)<br>春に管理者の交代があったが、当ホームは開設当初より住み慣れた地域での安心した生活と本人の望む自由な暮らしを支えるために、代表者と管理者が、様々な場面で理念の大切さと実践に向けた取り組みについて話し、ホームの理念を職員全員で作り上げ、共有し、迷った時は理念に戻り、実践に向け努力している。<br>(外部評価)<br>玄関を入ると、「やさしい笑顔、よりそう心、主役はお年寄り」と、事業所理念を揚げておられる。代表者は、新人職員研修時、「サマリヤの家」の成り立ちや理念についてお話しをされている。又、月1回の職員ミーティング時には、「認知症の方の思い・弱者の立場」で支援できるよう、理念に立ち戻りながら話し合いをされている。                    |                               |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | (自己評価)<br>自治会にも加入しており、公民館の行事(公民館まつり)、婦人会、高校の文化祭のバザーや、近所の幼稚園、保育所の行事にも声をかけてもらいできるだけ参加し、地元の方々との交流に努めている。地域の敬老会にも家族と参加をしている。<br>(外部評価)<br>利用者は、地元の方達であり、事業所の近くにも知り合いが多い。訪ねて来てくれ一緒にお茶を飲んだり、散歩や出かけた先でおしゃべり等されている。夏祭りの踊りの連には、職員と一緒に利用者も仮装して参加され、毎年のように賞をいただいている。小・中学校の運動会に招待され、鈴割りを楽しまれたり、小学校の児童と先生が育てたハイビスカスの鉢植えをいただいたり、高校のバザーに出かけ、お好きなものを食べて帰るようなこともある。 |                               |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価)<br>法人全体で、講師を依頼し関係者や地域の方々を対象にした認知症に関する講演会の開催や、職場体験実習生の受け入れを行っている。  |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------|------|---|---|---|
| 4    | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)<br>ホームの近況や利用者・職員の異動等の報告や運営推進会議委員にも敬老会や救急法講習等へ参加して頂き取り組み状況を見て頂いている。今後、もっといろいろな立場の方に働きかけて出された意見をサービス向上に活かしていく。   | 代表者は、会議時に事業所の取り組み等についての意見が出にくいと感じておられる。今年度は、町内のグループホーム同士で会議に参加し合えるような取り組みもすすめていきたいと考えておられ、他ホームと意見交換することで、参加者の意見等を引き出していきたいと考えておられた。 |
|      |      |   | (外部評価)<br>会議の参加者から、「おとなしい利用者は、支援が後回しになる危険性があるのではないか」という意見をいただいたことをきっかけに、事業所では、職員が利用者体験をして、居室で過ごしてみられた。体験した職員は、「ひとりであると、孤独感が強くなった」「声をかけてもらおうと、安心した」等、感想があり、その後の支援に活かしておられた。会議時、地域医療に取り組む医師を講師に招き、「住み慣れた場所での看取りを支える」という演題でお話をいただき、地域の方も含め50名ほど参加をいただいた。 |   |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)<br>町が主催する地域ケア会議にできるだけ出席し、勉強させてもらったり情報の共有を図っている。運営推進会議にも必ず出席して頂いておりすべてに協力が得られている。   |   |
|      |      |   | (外部評価)<br>災害時の備蓄についての助言等、その都度連絡し合い、取り組みをすすめておられる。事業所でバーベキューを行う際には、町役場の担当者もお誘いして、利用者の普段の様子等をみている。  |   |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>身体拘束は人権侵害にあたることを職員は認識している。身体や言葉の拘束だけでなく、主治医と相談しながら薬での拘束にも気をつけて取り組んでいる。現在1名、大腿部骨折後の利用者さんがベットからの転倒があるため、家族と話し合ってベット策を固定させてもらっている。   |   |
|      |      |   | (外部評価)<br>利用者が立ち上がろうとされる時は、すぐに声をかけるのではなく、さりげなく見守り、危ないような場面がある時、声をかける等して「さりげないサポート」に努めておられる。「薬で行動を押さえ込まない」ような支援にも取り組んでおられ、心療内科の医師と相談して、入眠剤を飲まなくても眠れるよう支援された事例もある。  |   |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br><br>代表者・管理者共に虐待についてはっきりした考え、方針を持っており、身体的・精神的すべての虐待を生じさせないように職員のストレス解消を含め、継続的に取り組んでいる。   |                               |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br><br>現在当ホームに対象者が1名いる。権利擁護の研修など職員と共に学び、研修出席者が学んだことは全職員に周知している。  |                               |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br><br>入居時には当ホームのケアに関する考え方や取り組み当をはじめ、GH協会から出ている「利用者の権利・倫理綱領」等を契約書と一緒に渡して不安のないよう十分に理解・納得をして頂いている。   |                               |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | (自己評価)<br><br>介護相談員が月に2回来訪しており、利用者が外部の人に思いを話せる機会となっている。利用者や家族が、いつでも要望・不満・苦情を表すことができるよう管理者や職員は柔軟な姿勢を持つようにして、当人のその時々のおもいや希望などを大切に、運営に反映させるように取り組んでいる。<br><br>(外部評価)<br><br>月に1度、ご家族が利用料を持参される際に、日々の介護記録をみていただきながら、職員の暮らしの様子等を説明されている。事業所のバーベキュー大会等には、利用者と一緒に過ごしなが、ご家族同士でお話したり、日頃の暮らしの写真等もお見せして、近況報告をされている。ご家族から、意見や要望を話していただくことが少ないこともあって、評価機関が年2回送付する家族アンケートのコメント集の中から、当てはまりそうな内容を職員会議で検討して、ご家族の心情の理解等にも努めておられる。 |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 11                         | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                       | (自己評価)<br>毎月のカンファレンスや個人的な意見や提案も検討され、ホーム運営に反映されるよう取り組んでいる。   |                               |
|                            |      |   | (外部評価)<br>気になることがあればミニカンファレンスを開き、職員で話し合っていて支援されており、ベッドの枕元と足元部分に隙間ができて、利用者が足を入れてしまう危険があると職員が気づき、板を敷いて対応されたり、食事量が少なくなっている利用者には、とろみを付けて食事をしやすくする等、職員が気づきやアイデアを出し合い即、対応できるよう取り組まれている。 |                               |
| 12                         |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている       | (自己評価)<br>左記の事項が実践できるように取り組んでいる。又資格取得を奨励し取得後は資格手当等を含め、向上心を持って働けるよう努めている。  |                               |
|                            |      |   |   |                               |
| 13                         |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | (自己評価)<br>新人研修をはじめすべての職員が、段階に応じた研修(中予ブロック研修)、社内研修をしてもらっている。常勤・非常勤問わず研修を受けるためのバックアップや自主的に勉強しやすい環境作りに取り組んでいる。   |                               |
|                            |      |   |   |                               |
| 14                         |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>同業者間で職員研修をさせてもらったり、講師をしてもらったりネットワーク作りや質の向上に取り組んでいる。町内のホームにも働きかけてはいるが、交流まで至っていない。  |                               |
|                            |      |   |   |                               |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |                               |
| 15                         |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている         | (自己評価)<br>本人の状況、不安、要望を把握し安心して暮らせるように支援している。また、しばらく慣れるまでは、代表が泊まったり、家族に泊まってもらうなど信頼の構築に努めている。  |                               |
|                            |      |   |   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>これまでの家族関係や本人の状況など、じっくり話を聴き当ホームではどんな対応ができるのか双方の理解と納得が得られるまで、家族の心情を理解しつつ話し合いをするように努めている。出来る限り柔軟な対応をさせていただいている。  |                               |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>家族や本人が必要としているものを色々な角度から判断して、適切な支援が受けられるよう、その人に合った必要なサービスを提供できるように努めている。   |                               |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>一緒に時を過ごす家族のような関係作りに努めている。   |                               |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>それぞれに置かれた家族の思いに寄り添い共感しながら、家族と共に支える介護を目指し取り組んでいる。  |                               |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)<br>グループホームの近くに自宅がある人がいて、行きたい時いつでも行っている。車椅子で行くことが多いため道中、友達や近所の人が話しかけてきたり、馴染みの美容院に行くことで関係が途切れないよ支援に努めている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>近くにある系列の小規模多機能事業所に通って来られる友人と行き来して、おしゃべりする等して互いに「気分転換」されている利用者もある。事業所で支援して年賀状のやり取りを続けている方もあり、京都の友人の方が事業所まで会いに来てくださったこともある。毎週、ご家族の方が会いに来てくれることを楽しみにされている利用者もおられる。 |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>関係を把握し、より良い関わりがもてるよう見守りや声かけを行っている。孤立しがちな方は職員がうまく交わる場を設定したりしながら利用者同士の関係作りの支援を行っている。  |                               |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>亡くなったり、長期入院になったりして退所になられても関係を断ち切らないように、必要に応じて相談や支援を行っている。   |                               |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |                               |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>日々のかかわりの中で職員が本人、一人一人の把握に努めている。本人の意向を第一にして自分で決めることができるような声かけをするよう取り組んでいる。意思疎通の困難な方は家族の希望や本人の表情・様子などから把握し、希望に添えるよう努めている。<br>(外部評価)<br>利用者の思いを共有できるよう、「モニタリング表」の一覧を作っておられ、すべての職員で共有されている。職員は、利用者に話しかけながら、表情もしっかり見て、利用者の思いを汲み取ることに努めておられる。職員は、利用者個々の、楽しいことお好きなことを探るために、ご主人やご家族等の写真を一緒に見ながら、以前の暮らしぶりを尋ねるような取り組みをされている。 |                               |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>在宅での生活歴を本人や家族等への聞き取りで把握に努めている。  |                               |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>ケース記録に個々人の状態(食事、水分、排泄)や会話等、生活状態がわかるように記録している。   |                               |



自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 26   | 10   | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング<br/>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価)<br/>本人、ご家族の意向を伺いながら利用者個々の担当者が立案し職員全員で話し合いケアプランを作成している。状況変化があればその都度見直しを行っている。毎月モニタリングにより、一人一人を把握し見直しを行っている。</p> <p>(外部評価)<br/>「散歩にいきたい」「今までと同じように生活したい」等、ご本人の「行いたいこと」やご家族の意見、要望に沿って介護計画を作成しておられる。モニタリング時には、職員が気付いたことを記入する欄を設けておられ、それらの情報も踏まえて作成されている。毎日職員は「モニタリング表」を使いモニタリングし、気になることは備考に記入し、日々のモニタリングを元に毎月全職員が利用者のモニタリングを行い、介護計画に活かすようにされている。</p> |                               |
| 27   |      | <p>○個別の記録と実践への反映<br/>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>                        | <p>(自己評価)<br/>ケース記録にケアの実践状況や日々の様子を記録し、気付いたことも記録するようにしている。職員同士も情報共有しながら、実践や、介護計画の見直しに活かしている。</p>  |                               |
| 28   |      | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br/>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>             | <p>(自己評価)<br/>併設のデイサービスのイベントへの参加や、同事業所内でのイベントの参加などの交流を行っている。必要に応じ本人、家族の状況や要望を軸に臨機応変に対応している。</p>  |                               |
| 29   |      | <p>○地域資源との協働<br/>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>                         | <p>(自己評価)<br/>近くのスーパーへの買い物、行きつけの美容院の利用、保育園、幼稚園児との交流等できるだけ豊かな暮らしができるよう、支援している。社協のボランティア制度も利用している。</p>   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | (自己評価)<br>それぞれのかかりつけ医に定期的に月1回往診してもらっている。又、随時の受診の支援や24時間体制で診療して頂ける医院との連携もできている。町外の医療機関への受診も基本的には職員が同行するが、状況によってはご家族の同行をお願いしている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>夜間の状態が心配な利用者がある時には、協力医療機関に連絡して、対応等についてアドバイスをもらうこともある。又、日頃についても、皮膚剥離した利用者の入浴方法等、注意することやアドバイス等をお聞きしながら支援されている。  |                               |
| 31   |      | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                       | (自己評価)<br>普段は介護職員で一人一人の体調管理や病状把握に努めており、急変時は24時間体制でのかかりつけ医や、法人内の看護職員に来てもらったり、医療が必要な場合は訪問看護を利用している。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)  |                               |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | (自己評価)<br>本人・家族が安心して入院生活を送れるよう支援している。又、早期退院に向けて医療機関と話し合い、情報交換を行っている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)  |                               |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価)<br>入居時、及び必要時にターミナルケアに関する指針を文書や口頭で説明し理解を得ると共にその都度話し合いを持ち、柔軟に対応、支援している。医療との連携による数名の看取り経験があり、いずれも自然死を望む御家族からとても感謝されている。 2月27日106歳の方の看取りをさせてもらった。                                  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>今年度は、1名の看取りを支援されている。「ホームで最期を迎えたい」とご本人ご家族が希望され、娘さんが事業所に数日前から泊まり、医師の往診や24時間の連絡体制等もいただき、職員とともに支援された。ご家族から「ばあちゃんは自然に逝けてよかった」と感想があったようだ。事業所では、「どう最期を迎えるのがいいのか」ということを職員で話し合われている。 |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|----------------------------------|------|--|---|---|
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>マニュアルを作成し、カンファレンス等で周知徹底を図っている。消防署の協力を得て、救命救急講習会を毎年1回行っている。回を追うごとに実践力が身に付いていると思うが、いざと言うときに備え安全安心に向けた取り組みを一層強化していきたい。   |   |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>年1回消防署の指導の下、避難訓練、消火訓練を実施している。自治会にはホームの見取り図と利用者の身体状況を情報提供し、いざというとき駆けつけてもらえるようお願いしている。ホームの隣の職員の自宅とも、すぐ連絡できるようにしている。自動火災通報装置・スプリンクラーを設置している。   |   |
|                                  |      |  | (外部評価)<br>年に2回避難訓練を実施されている。今年度は民生委員、老人会、役場、社会福祉協議会の職員5~6名が参加してくださった。職員は、布団を使って利用者を避難させる方法を体験された。事業所の近くには消防署があり、いざという時には、1分で駆けつけてくれる。又、近くに住む職員は、夜間すぐに駆けつけられるよう、日頃から呼び出しブザーを枕元において休むようにされている。 | 豪雨で国道33号線が通行できなくなり、町は、陸の孤島になってしまった経験もある。備蓄については、現在、代表者が研修会で入手したチェック表をもとに準備しているところである。又、事業所は、建物の2階に位置し、車いすを使用する利用者が現在は多く、今後さらに、その時々利用者の状態等も踏まえながら、いろいろな災害の場面を想定して、訓練を重ねていかれてほしい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>法人の理念である「自由と尊厳」を接遇態度において実施した言葉かけに努めている。   |   |
|                                  |      |  | (外部評価)<br>職員・利用者とも、地元の方であり、馴染みの方言で話しておられるが、代表者は、「使い方でぞんざいな言い方、失礼になる場合」その都度、職員に注意されている。職員は、利用者には、「どこに座りますか？」とお聞きする等して、ご自分で選んだり、決めたりできるよう支援されていた。   |   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>一人一人の持てる力に合わせて、入浴時、衣類の選択をしてもらったり、買い物時の選択、おやつ時の飲み物の選択等、日常生活の中で自己決定できるように支援している。  |   |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>1人1人の体調、ペースに合わせた生活を優先したケアに努めているが、重度化に伴い状況によっては本人の希望に添えない時間も出てきている。  |                               |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | (自己評価)<br>1人1人の好みを優先しその人らしいおしゃれができるよう支援している。  |                               |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>食事の準備やあとかたづけはその時々利用者さんの状態に合わせて臨機応変に対応している。一緒に買い物時に希望をきいたり、食事が楽しめるよう努めている。<br>(外部評価)<br>地元の旬の食材をふんだんに使用して、時には、ご家族から採れたての野菜をいただき、事業所で、やわらかく食べやすいように調理されている。「料理は色合いも食欲には大切」と、訪問当日は、食事の「色合いが寂しい」とトマトを添えられた。手で食べる方が食べやすい利用者には、ごはんを一口大のおにぎりにされていた。又、主食にパンを希望される方には、ごはんの代わりにパンを用意されていた。利用者は、野菜の皮むきをされたり、食後には食器を洗う等、体の調子等もみながら職員と行っておられる。 |                               |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | (自己評価)<br>食事量や水分量を把握し、1人1人の状態や習慣に応じた支援ができるよう努めている。また、糖尿病の利用者さんには、病気のことを考慮に入れ調理や配膳に気を付けている。  |                               |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | (自己評価)<br>毎食後歯磨きの声かけを行い、自分で行えない利用者さんは職員が手伝っている。チェック表に記入し確認している。   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 43   | 16   | <p>○排泄の自立支援<br/>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>          | <p>(自己評価)<br/>個々の排泄パターンを把握し、利用者のサインを見逃さないよう努めている。随時トイレ誘導し、経済的負担も減らせるよう工夫している。紙パンツから布の下着に替えることで不快感の排除、自己負担である排泄用品の出費の軽減に努めている。</p> <p>(外部評価)<br/>特に夏場、「蒸れないように過ごしていただきたい」「経済的負担をかけない」ことを目指して、すべての利用者が布パンツとパットで過ごされている。退院時、おむつ使用で戻って来られる利用者の方もいるが、時間ごとにトイレに誘導することを続けて支援し、布パンツを使用するまでに状態が改善した事例もある。</p> |                               |
| 44   |      | <p>○便秘の予防と対応<br/>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>                          | <p>(自己評価)<br/>飲食物や運動で薬物に頼らず排便を促したり、水分補給等いろいろ工夫し、ヨーグルトや牛乳を飲んでもらうことで自然排便に向けて取り組んでいるが、無理な場合はかかりつけ医と相談しながら下剤の調整を行うなど、支援に努めている。</p>   |                               |
| 45   | 17   | <p>○入浴を楽しむことができる支援<br/>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>(自己評価)<br/>1人1人の体調に合わせて入浴している。回数も特に決まりはなく、快く楽しめる入浴を心がけている。</p> <p>(外部評価)<br/>利用者によって毎日入浴する方、隔日に入浴する方があり、湯船で温まっておられる。脚が曲がったままで過ごしておられる利用者が、湯船で足を伸して入浴されたこともあって、職員がびっくりしたエピソードがあった。</p>   |                               |
| 46   |      | <p>○安眠や休息の支援<br/>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>                           | <p>(自己評価)<br/>個々の体調や希望に合わせて安心して休めるように支援している。リビングで職員と一緒にテレビを見たりお茶を飲んだりして眠くなったら居室に帰る方がいたり、自由にしてもらっている。冬場は湯たんぽを使用し、安眠につなげている。</p>   |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価)<br>服薬説明書を個別に管理し、全職員がいつでも確認できるようにしている。飲み忘れや誤配がないように服薬管理し、又症状の変化にすぐ気付けるよう観察を怠らないよう努めている。薬が変更したときは職員にも周知し、家族に連絡し知らせている。   |                               |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>本人のできることを依頼したり、ゲームやカラオケ、買い物、ドライブ、外食等楽しみごとや気分転換の支援に努めている。また、四季折々に花の見学に出かけたり、家に帰るなど気晴らしの支援を行っている。   |                               |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>天気の良い日は毎日出かける利用者さんがいる。買い物も利用者さんと出かけるようにしたり、観劇、墓参り、寺参り等行きたいところに出かけられるよう支援している。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>天気の良い日には、ご自宅の前を通るコースを散歩される利用者もいる。季節に応じて、近所の公園にお弁当を持って花見に出かけたり、松山の浄瑠璃寺まで菖蒲の花を見に出かけておられる。お寺参りに出かけた時には、参拝にいられていた方が車椅子を押して下さったり、お接待でそうめんをいただいたこともあった。利用者の希望で、町外にお墓参りに出かけた際には、他の利用者も2名車に同乗して、別の場所で釣りを楽しまれた。お墓参りされた利用者は、出かける際、自ら上品な服に着替えられて、お墓の掃除等を職員とていねいにされた。 |                               |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>自分でお小遣いを管理している利用者さんもいて、自分の好きなものや、欲しいものを職員と一緒に買いに行っている。支払いできる方はして頂き、個々の状況に応じて、支援している。  |                               |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | (自己評価)<br>当然のこととして対応しているが、できる利用者さんは少なくなっている。  |                               |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>リビングが天窓になっており、柔らかい光に包まれているので利用者、来訪者もリラックスできていると思う。踊り場にソファを置いたり利用者それぞれが好きな場所でくつろげる工夫をしている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>床は、転倒してもけがが軽くすむように、クッションフロアにされている。季節に応じて、日当たり等も踏まえ、利用者の希望を聞きながら、ダイニングテーブルと椅子の位置を替えておられる。月2回、ボランティアの方が共用空間の掃除に来てくださっている。  |                               |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | (自己評価)<br>居室で1人で過ごされたり、リビングで話したりテレビを見たりそれぞれ自由に過ごされている。静かに過ごしたい利用者さんは一人で好きな音楽を聴いたり、歌を口ずさみながら過ごしている。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | (自己評価)<br>利用者さんの部屋は、利用者さんの状態に応じ洋室、和室を利用できるようにしている。ダンス、テレビ、仏壇、小物など本人の使い慣れたものを持ち込んでもらうようにしている。家族の写真や誕生日の色紙など安心して過ごせる場所になっている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>お好きな歴史小説を読みながら過ごす利用者もおられ、調査当日も、「眼鏡をかけて読むんですよ」と話してくださった。友人が送って来てくれたハガキを飾ったり、お好きな歌手のポスターを貼っておられる方もみられた。ダンスの上には野の花を一輪挿しに飾っておられた。仏壇のお線香は、電気のものをご家族が用意してくださっており、手を合わせる際に職員が付けるようにされている。 |                               |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | (自己評価)<br>廊下やトイレに手すりを付け、自分の力で立位するようになっている。玄関は座って靴が履けるようになっており、自分のできることやわかることは極力見守りで支援するよう努めている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |